研究主題　社会とつながり未来を創る子供の育成

Ⅰ　団体の概要

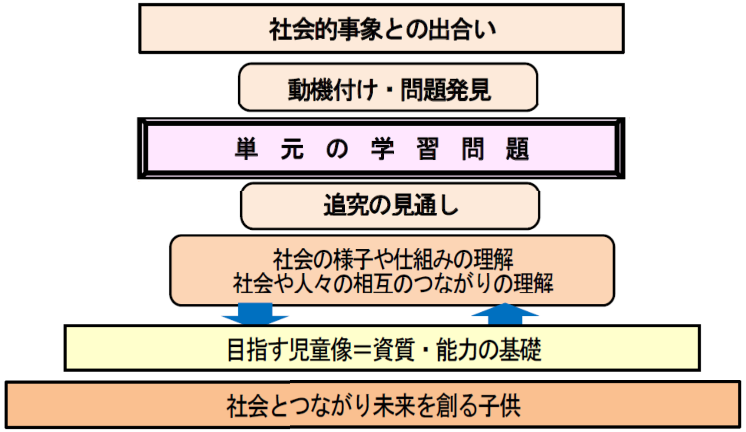
昭和 26(1951)年の発足から 70 年間以上続いている歴史ある社会科の研究団体です。現在、３年から６年まで四つの研究部会に分かれ、教材開発、指導方法や評価の工夫などを中心に、各部会年２回程度の研究授業を通して社会科授業の実践研究をしています。また、夏季休業期間に、各学年での授業実践の紹介や授業づくりのワークショップを行う夏季研究会を開催したり、様々な工場など社会科見学でも使える施設の見学会を行ったりしています。都小社研では、様々な地区の教員が集まり、それぞれの取組を交流し、議論や実践を通して、令和５年度に開催された全国小学校社会科研究会全国大会東京大会の研究成果を継続・発展させ、よりよい社会科の授業づくりを目指します。また、昨年度から、本研究会独自の研究員制度を発足させ、これからの社会科指導のための教員育成を行っています。今年度の研究発表会を令和８年２月 20 日(金)に新宿区立四谷小学校で開催します。

Ⅱ　研究の目的

社会的事象の見方・考え方を働かせながら、児童主体の問題解決的な学習を展開し、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を統一的に育む実践を積み重ねながら研究主題の実現及び理論の充実を図り、広く発信する。

Ⅲ　研究の方法

教材開発や教材の分析などの単元構想の側面及び、授業づくりの手だての工夫の二つの側面から単元設計や毎時間の授業設計をし、子供の学びの様子を通して成果と課題を検証する。



Ⅳ　研究の内容

1　単元の構想

○社会とのつながりを意識できる教材、東京らしさやよさを感じ、都民としての誇りがもてる教材、人の営みや働きに共感できる教材を開発する。

○学習指導要領の解説文を参考に、「知識」「見方・考え方」「問い」「資料」の四つの観点から分析するとともに、子供の思考の流れを想定し、単元を構想する。

2　授業づくりの手だて

①主体的に問いを追究する工夫

- ○問いが生まれる出合い
- ○学習計画と問いの構成
- ○子供が選ぶ

②社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

- ○視点に着目して調べる
- ○比較・分類・総合・関連付けて考える
- ○選択・判断する

③子供の学びを確かにする評価の工夫

- ○３観点による評価
- ○指導に生かす評価
- ○子供が学びに生かす評価

Ⅴ　研究の成果と課題

○学習指導要領の分析等を踏まえ、単元構想図を作成し、それを基に見方・考え方を働かせ主体的な学びを促す指導計画を作成、確かな理解と主体的に学ぶ態度を養う授業の具現化を図ることができた。

○次の東京大会の開催を見据えた人材育成の一環として昨年度発足した都小社研独自の研究員制度により、実践的な研究を推進することができた。

<課題>

●次期学習指導要領の改訂に向けた理論の明確化と授業への具現化

＜令和7年度連絡先＞

<table>
<tr><td colspan="2">団体名</td><td colspan="2">東京都小学校社会科研究会</td></tr>
<tr><td rowspan="3">代表者</td><td>所属</td><td colspan="2">新宿区立四谷小学校</td></tr>
<tr><td>職　氏名</td><td colspan="2">校長　石井　正広</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="2">０３－５３６９－３７７６</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事務局</td><td>所属</td><td colspan="2">江東区立越中島小学校</td></tr>
<tr><td>職　氏名</td><td colspan="2">校長　大木　直之</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="2">０３－３６４３－９６５０</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">団体ホームページ</td><td>ＵＲＬ</td><td>二次元コード</td></tr>
<tr><td>https://asp.schoolweb.ne.jp/1350008?tm=20251202150804</td><td></td></tr>
</table>